

# 平成 24 年度 事業報告書

平成 24 年 1 月 1 日 から 平成 24 年 12 月 31 日 まで

認定 N P O 法人江戸城再建を目指す会

## 1. 主な事業の成果：

平成 24 年度は、今後の再建運動を中長期に展望する中で、改めて、事業母体となる組織基盤の強化に努めると共に、政官財、各界各層への働きかけを通して、当会の再建運動の意義を広く世間に訴える・・・そういう意味では、大きな一歩を踏み出した年であった。

特筆すべきは、昨年の通常総会で発表した今後の再建運動の中長期展望、即ち、

- \* 2013 年に、「江戸城再建を目指す会」から「江戸城天守を再建する会」に移行し、
- \* 2020 年に、江戸城寛永度天守の完成を目指す「ロードマップ」を発表したことによって、内外の注目と期待が集まり、事業活動を大きく前進させることが出来た。

当会が大きな飛躍を遂げる為には、私たち自身が自ら努力して道を切り拓く・・・その使命と役割をきちんと胸に刻んで前進してこそ、世間が私たちの存在を認めて頂けるという信念のもと、直面する課題に真剣に向かい合ってきた。それは、魅力的な広報宣伝の実施とイベントの催行、会員拡大、寄附金と賛同署名者の募集、事務局体制の確立などであるが、お蔭様で、夫々、下記のような一定の成果を上げることが出来た。

### 1) ホームページの刷新と、新企画のイベントを主催した。

ホームページ（HP）の刷新は長年の懸案課題であるが、少なくとも導入部分の画面デザインが過去 3 年改善されなかったもので、CG の新しい天守画像を大きくクローズアップするなど刷新した。しかし、HP は新規イベントの事前予告や新鮮で魅力的な情報提供など、今後、取り組むべき課題は山積している。一方、イベントについては、「木と森シンポジウム」や「雅楽 1300 年のクラシック」「EDO EXPO 展への出展」など斬新な企画を、成功裏に開催した。

### 2) 組織基盤強化の目標を達成した。

- ① 会員拡大の年度目標、3000 名、② 街頭署名を含めた賛同署名者の目標総数：5000 名を完達
- ③ 用途を特定して募集した寄附金を含めて、寄附金総額が、930 万円に達成した。 また、
- ④ 各地で開催されたイベントや事務局での総務、庶務的な仕事に参加頂いたボランティアの方々の年間参加者総数が、史上最高の、延べ約 1,800 人日に達した。

#### ⑤ 情報公開の推進と事務局体制の強化：

・ 事業報告書等並びに認定 N P O 法人の資格要件で、法的義務のある 2 3 種類に及ぶ情報公開を初めて実施した。事務局体制の第 2 次改革としては、仕事の流れと仕組みの抜本改革を進めてきた。一方、若手の有償専任者が退任したあと、事務局体制を支えてきたのは主として 7 0 歳代の無償ボランティアである。そのことから、事業・組織基盤を安定的、継続的に確立する為には、定着して仕事をする有償スタッフの複数専従化と人材育成が、最大の急務となりつつある。

- \* 昨年の理事会決定により、公益社団法人日本ナショナルトラスト協会に 5 万円の寄付を行う。

### 3) 政官財へのアピールとネットワーク拡大に向け、第一歩を踏み出した。

昨年2月、中長期展望を発表したが、それがきっかけになって、当会の再建運動に対する、政官財、各界、各層からの期待と注目が集まり始めた。具体的には、次のような成果があった。

- ①去る3月、東京都議会の予算特別委員会で、当会の動きが大きく取り上げられた。
- ②去る8月、自由民主党の政策意見交換会に当会がNPOの代表として招かれ、意見具申した。
- ③去る10月、財務省主催のIMF世銀総会・政府公式広報コーナーに当会の模型が展示された。
- ④去る11月、東京都知事選挙の候補者が、江戸城天守再建テーマを、マニフェストに取り上げた。

### 4) 千代田区などを中心に、地元と連携、交流する活動が、根を下ろし始めた。

- ・ 一昨年から実施して来た千代田区大手門前でのピラ撒きを昨年は計80回、延べ284名のボランティアが参加して実施する一方、千代田区商工業連合会主催の神田カレグランプリや、岩本町・東神田ファミリー・バザールにも参加して、合計約1800名の賛同署名を頂いた。また中央区・日本橋地区との交流も進んでいる。こうした地道な活動が少しずつ実って、千代田区や日本橋地区を中心に、一般の人々の間にも江戸城再建に対する理解と関心が高まりつつあり、何よりも、地元の人たちと私たちのとの間の絆が次第に強まりつつあることを、実感している。

## 2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者範囲・人数(人)	支出額(千円)
①再建江戸城の具体化のための調査・検討	上記1) 2) に記載	通年	都内	5	不特定多数	551
②江戸の文化、歴史等へ情報収集、調査・研究	上記1-3) に記載	通年	都内		不特定多数	429
③意義・必要性・実現方法等の広報宣伝かわら版の発行ホームページの充実	ホームページを10月、天守外観・内観CG画刷新、急速に普及したフェイスブックを11月から運用開始した。かわら版の発行を継続実施した。	通年	事務所等	5	不特定多数	4075
④世論喚起のためのシンポジウム・イベント事業	黒田涼氏と江戸城社を歩く。 ・飛鳥山・六義捐お花見ウォーク ・シンポジウム：日本と木と森を考える ・高輪寺町と白金の大名屋敷ウォーク ・講演会：雅楽千三百年のクラシック ・EDO ART EXPO 江戸の美意識展に出展(19日間)で1666人の賛同署名を得る。IMF世銀総会会場に江戸城模型を提示 ・紅葉、芭蕉、吉良邸を巡るウォーク	3月 5月 6月 9月 9月～ 10月 12月	都内	5 30 5 5 170 (人・日) 5	不特定多数	2225
⑤江戸城再建に関わる各種団体・機関と連携をする事業	・千代田区をはじめとする諸団体や、地域住民の方々との連携や交流を進めた。 ・地元のカレグランプリやファミリーバザールへ参加し1800名の賛同署名を得た。	通年	都内	50 (人・日)	不特定多数	734

## ★多くのボランティアの皆様に、活動の成果と感謝の特別メッセージ★

24年度事業活動のご報告に当たり、改めてボランティアの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

当会のすべての活動は、ごく一部の有償者を除き、ボランティア（無償奉仕）の皆さまによって、支えられています。しかも多くは、公職をリタイアされた後の70歳代の方々です。

ボランティアの皆さまにご参画頂いた業務は、実に広範にかつ多岐に亘っています。

- ①事務局作業：入会手続きから、会計、会員情報などをPCに入力する等の日常業務
- ②企画・編集：かわら版・HPの企画編集、総合企画と、発行、発送など
- ③会員拡大：会員の勧誘、電話連絡、お知らせメモの送信コミュニケーション等
- ④イベントセミナー：イベントセミナー関連業務の準備や当日のお手伝い
- ⑤専門性の高い仕事：弁護士、公認会計士、税理士、文化研究、各種コンサルタント、各種ガイド、翻訳、通訳など。
- ⑥主たる事務所の無償提供：（8頁：平成24年度計算書類の注記 参照）  
事務所の賃借料、光熱水費、茶葉や接待費、金庫、書棚等の備品管理 など

特に今年度は、江戸城寛永度天守の復元図とCGの監修に携われた広島大学大学院三浦正幸教授を始め、各界の専門分野の方々に、ボランティアとして多大なご協力とご支援を賜りました。

ここに、改めて通常総会にご報告し、篤く、御礼、感謝の意を表します。

---

「メモ」